

## 平成30年度「わか杉っ子！育ちと学び支援事業」事業概要(秋田県)

### 1 市の概要(人口 985,021 人)※平成30年4月1日現在

就学前教育・保育施設数、小学校数(平成30年4月1日現在)						
幼稚園	うち、幼稚園型 認定こども園	幼保連携型 認定こども園	保育所	うち、保育所型 認定こども園	地方裁量型 認定こども園	小学校 義務教育学校
37園	14園	65園	209か所	10園	0園	199校

### 2 教育・保育の現状と課題

市の教育・保育の課題
<p>(1) 県教育委員会を中心とする推進体制であるため、地域の実情や園のニーズに即し、機動的に幼児教育の指導・助言を行う体制が不十分である。</p> <p>(2) 幼保推進課主催の幼児教育に関する研修会の大半を中央地区で実施せざるを得ず、遠方の園からの参加が困難であり、地域での研修会の開催や身近に相談ができる体制を望む声がある。</p> <p>(3) 市町村が所管する施設に対し、幼児教育に関する指導・助言ができる人材の育成や組織の整備が不十分である。</p>

### 3 事業計画の概要(3年間の主な計画)

目的(3年間)
<p>体系的な研修の提供等により保育者の資質・能力の向上を図るとともに、県及びモデル市となる市町村(3市)に「教育・保育アドバイザー」を育成・配置し、県とモデル市が連携・協力して0～5歳児の教育・保育を推進する体制を構築することで0～5歳児の教育・保育の質的向上を図る。</p>
主な内容(3年間)
<p>(1) 「就学前教育振興アクションプログラムⅡ」の作成、配付、活用 次期幼稚園教育要領の改訂を見据え、県の幼児教育の指針となる「就学前教育振興アクションプログラムⅡ」を作成し、県内の園、小学校、関係各課所へ配付する。また指導主事訪問や研修会で活用し、園に対する指導の一貫性を確保する。また、就学前教育・保育に関するアンケートを実施し、園の今日的な課題を把握するとともに、教育・保育アドバイザーの在り方や幼児教育センター機能をもつ幼保推進課の支援体制の見直しを図る。</p> <p>(2) 保育者の資質・能力の向上のための研修の機会提供 園内研修を推進する保育者を育成するため、「園内研修リーダー養成講座(基礎編)(応用編)」を幼保推進課所管研修に新設する。また、就学前及び小学校の教育における円滑な接続の在り方について、園と小学校の教職員間の相互理解を深めるために、「就学前・小学校地区別合同研修会」を県内3地区で実施する。</p> <p>(3) 外部専門家等との連携による園の課題に応じた指導・助言 幼保推進課に県教育・保育アドバイザーを配置し、モデル市教育・保育アドバイザーと連携・協力体制を構築するとともに、幼保推進課が外部専門機関、関係各課所との連携体制を構築することで幼児教育センターとしての機能の強化を図る。また、その機能を活用し、モデル市及び園の課題に対する解決方法等の情報提供の充実を図る。 調査研究実行委員会を、平成28年度から3年間設置し、本事業の内容等について協議し、本研究の方向性を明確にする。</p> <p>(4) 県とモデル市の連携・協力体制整備 県及びモデル市教育・保育アドバイザーの配置により、県とモデル市が連携・協力して0～5歳児の教育・保育を推進する体制を構築するとともに、「教育・保育アドバイザー連絡協議会」の開催、県教育・保育アドバイザーのモデル市訪問によるモデル市教育・保育アドバイザーの支</p>

援、モデル市教育・保育アドバイザーの幼保推進課主催の研修会への参加や指導主事等による園訪問への同行を通して、モデル市教育・保育アドバイザーの専門性の向上を図る。

(5) 市町村における0～5歳児の教育・保育の推進体制整備（モデル市事業概要参照）

(6) 調査研究内容の発信

幼保推進課所管研修、幼保推進課ホームページ、モデル市の研修会等において、全県の幼児教育行政機関等に対し、調査研究内容を紹介する。また、「わか杉っ子！育ちと学び支援事業フォーラム」（10月）を開催し、県内外幼児教育行政機関等に本事業の成果等について発信する。

#### 年度別重点

平成28年度	<p>(1) 体系的な研修の提供等により保育者の資質・能力の向上を図るとともに、モデル市の0～5歳児の教育・保育の課題解決に向けた外部専門家等との連携を図った指導・助言、情報提供の体制を構築する。</p> <p>(2) 県とモデル市の連携・協力による0～5歳児の教育・保育の推進体制構築を構築する。</p>
平成29年度	<p>(1) 1年目の取組の成果と課題を踏まえ、保育者の資質・能力向上のための研修会や、モデル市の課題解決に向けた県とモデル市の連携・協力体制の充実を図る。</p> <p>(2) 「わか杉っ子！育ちと学び支援事業フォーラム」の開催により、調査研究内容を全県及び東北地区の幼児教育行政機関等に発信し、啓発を図る。</p>
平成30年度	<p>(1) 幼児教育センターとしての機能の強化、県とモデル市の連携・協力による0～5歳児の教育・保育の推進体制構築に関する調査研究内容取りまとめる。</p> <p>(2) 「わか杉っ子！育ちと学び支援事業フォーラム」等の開催により、調査研究内容を全県及び全国の幼児教育行政機関等に発信し、啓発を図る。</p>

## 4 平成30年度の具体

### 目的

#### 1 目的

- (1) 幼児教育センターの機能及びモデル市への教育・保育アドバイザー配置等、幼児教育推進体制構築に関する3年間の調査研究の結果をとりまとめ、検証する。
- (2) 3年間の調査研究の成果を県内の各市町村幼児教育行政機関へ発信し、普及啓発を図るとともに、フォーラム開催により全国発信する。

### 実施内容

#### 2 実施内容

##### (1) 幼保推進課における幼児教育センター機能の強化

###### ①調査研究実行委員会による3年間の研究調査成果の検証

期日：10/11、10/12

内容：3年間の実施状況の報告、研究内容への指導・助言、教育・保育アドバイザー活用の具体（研究協議等）の視察及び検証等

方法：調査研究実行委員への資料送付による提言のとりまとめ、フォーラムでの報告

###### ②「秋田県就学前教育振興アクションプログラムⅡ」の完成、発信

〈ワーキングチーム会議〉

期日：5/10、6/12、7/5、7/17 場所：秋田県庁第二庁舎（秋田市）

委員：幼保推進課指導主事及び幼保指導員、北・南教育事務所総務・幼保推進班指導主事及び幼保指導員、秋田県教育・保育アドバイザー

内容：「秋田県就学前教育振興アクションプログラムⅡ」の内容検討及び作成

〈外部検討委員会〉

期日：5 / 16 場所：秋田県庁第二庁舎（秋田市）

委員：幼保推進課指導主事及び幼保指導員、北・南教育事務所総務・幼保推進班指導主事、  
県内の公立幼稚園教諭、私立幼稚園教諭、公立幼保連携型認定こども園保育教諭、私立  
幼保連携型認定こども園保育教諭、公立保育所保育士、私立保育所保育士

内容：「秋田県就学前教育振興アクションプログラムⅡ」の内容検討（活用側の立場から）  
〈「秋田県就学前教育振興アクションプログラムⅡ」の発信〉

対象：わか杉っ子育てと学び支援事業フォーラム参加者等（県内外幼児教育施設、小学校、幼  
児教育推進行政、関係機関、調査研究実行委員等）

③幼児教育に関するアンケートの実施による調査研究内容の分析と成果の発信

実施時期：8月上旬 対象：モデル市就学前教育・保育施設等

内容：研修参加数、園内研修の回数・内容・保育者の意識の変化等

④教育・保育アドバイザーの人材育成

- ・指導主事及び幼保指導員による園訪問への同行による専門性の向上
- ・幼保推進課主催研修会への参加による指導力の向上
- ・モデル市の要請による県教育・保育アドバイザーの園訪問同行
- ・教育・保育アドバイザー連絡協議会の開催

期日：5 / 1、6 / 13、8 / 20、9 / 20、11 / 21、2 / 15

場所：秋田県庁第二庁舎（秋田市）、秋田大学教育文化学部附属幼稚園（秋田市）、幼保連携  
型認定こども園 にいだこども園（秋田市）

内容：幼稚園教育要領等や秋田県学校教育の指針等を用いた教育・保育内容の確認、保育参  
観による保育の見方や保育内容に対する指導・助言方法についての協議、市の課題解決  
に向けた協議、実践力向上のための演習等 等

○アドバイザーに関する具体的な目標

①アドバイザーの配置人数	②主な経歴	③主な業務内容
秋田県教育・保育アドバイザー 1名	元私立幼稚園教諭、元国立大学附属幼稚園講師	モデル市教育・保育アドバイザーの育成及び支援
④派遣対象施設／地域		⑤派遣期間
モデル市（大館市・男鹿市・横手市）		平成30年5月～平成31年2月
⑥派遣目標 計33回		
回数	大館市教育委員会、大館市幼児教育施設担当課（12回）、男鹿市幼児教育施設担当課（10回）、横手市教育委員会、横手市幼児教育施設担当課（11回）	
内容	・園訪問時のモデル市アドバイザーの支援及び指導・助言（市アドバイザーの園訪問に同行） ・モデル市開催の研修会での支援 等	
理由	・平成29年度は、現地での市アドバイザーへの指導及び支援を本格的に開始。市アドバイザーのニーズが高いことから、3年目も継続実施する。平成31年度以降の体制拡充に向けて、県アドバイザーの2年間の現地指導及び支援の具体をモデル化し、県と市町村の連携・協力体制として各市町村に示し、体制拡充の理解促進を図る。	
⑦派遣体制		
・アドバイザーが単独で訪問		

⑤幼保推進課所管研修の見直しによる体系的な研修機会の提供

- ・研修会の企画・運営、受講者アンケートの分析及び成果と課題を踏まえた計画の見直し

## ⑥保育者の専門性向上を図る研修会の実施

- ・就学前・小学校地区別合同研修会（県内3地区）

期日・場所：北 地区 7/23 北秋田市交流センター（北秋田市）

中央地区 7/27 五城目町町民センター（五城目町）

南 地区 7/25 浅舞公民館（横手市）

内容：秋田大学教育文化学部 准教授 山名裕子氏による講演、就学前施設保育者及び小学校教員の実践発表、小学校への円滑な接続に向けた保育者と小学校教員との協議等

- ・園内研修リーダー養成講座（基礎編）

期日：7/31, 8/1 場所：秋田県生涯学習センター（秋田市）

内容：大阪総合保育大学 准教授 高根 栄美氏による講話・演習、グループ協議（園内研修計画の作成と研修の進め方、目的に応じた研修手法、園内研修の評価と改善等）

- ・園内研修リーダー養成講座（応用編）

期日：5/18, 11/15 場所：秋田県生涯学習センター（秋田市）

内容：大阪総合保育大学 准教授 高根 栄美氏による講話・演習、グループ協議（園内研修計画と研修推進、園内研修リーダーの役割等）

## ⑦調査研究成果の発信

- ・「平成30年度『わか杉っ子！育ちと学び支援事業フォーラム』in 大館」の開催（大館市開催）

期日：10/11, 10/12 場所：大館市民文化会館、大館市内就学前施設等

内容：本事業内容及び成果と課題等の報告、大学教授による講演、大館市内3園の公開保育及び教育・保育アドバイザーを活用した研究協議、行政担当者による協議等

- ・幼保推進課ホームページでの事業内容の発信

## (2) 県とモデル市の連携・協力体制によるモデル市の幼児教育推進体制の構築

### ①県とモデル市の連携・協力によるモデル市及び園の課題解決支援

- ・幼保推進課と外部専門機関、関係各課所との連携体制の充実
- ・県教育・保育アドバイザーとモデル市教育・保育アドバイザーの連携・協力によるモデル市及び園の課題に対する解決方法等の情報提供
- ・モデル市教育・保育アドバイザーの各園への巡回、園からの要請による訪問での指導・助言

### ②モデル園等における保育実践力向上研修会の計画・運営

- ・県とモデル市の連携・協力による持続可能な研修支援体制の構築
- ・市アドバイザーによる園及び保育者のニーズの把握と研修のコーディネート
- ・園の主体性や保育者の協働性を発揮した研修体制の構築
- ・県教育・保育アドバイザーを核とした市教育・保育アドバイザーの育成・支援

### ③モデル地区の教育・保育アドバイザーの連携体制の強化

- ・教育・保育アドバイザー連絡協議会等での情報交換、指導・助言方法の協議

### ④活動の評価及び次年度の計画の作成

- ・3年間の実践内容のまとめ及び発信
- ・平成31年度以降の体制拡充案の検討及び提案

## 検証・評価計画

参照：平成30年度「わか杉っ子！育ちと学び支援事業」評価計画

